

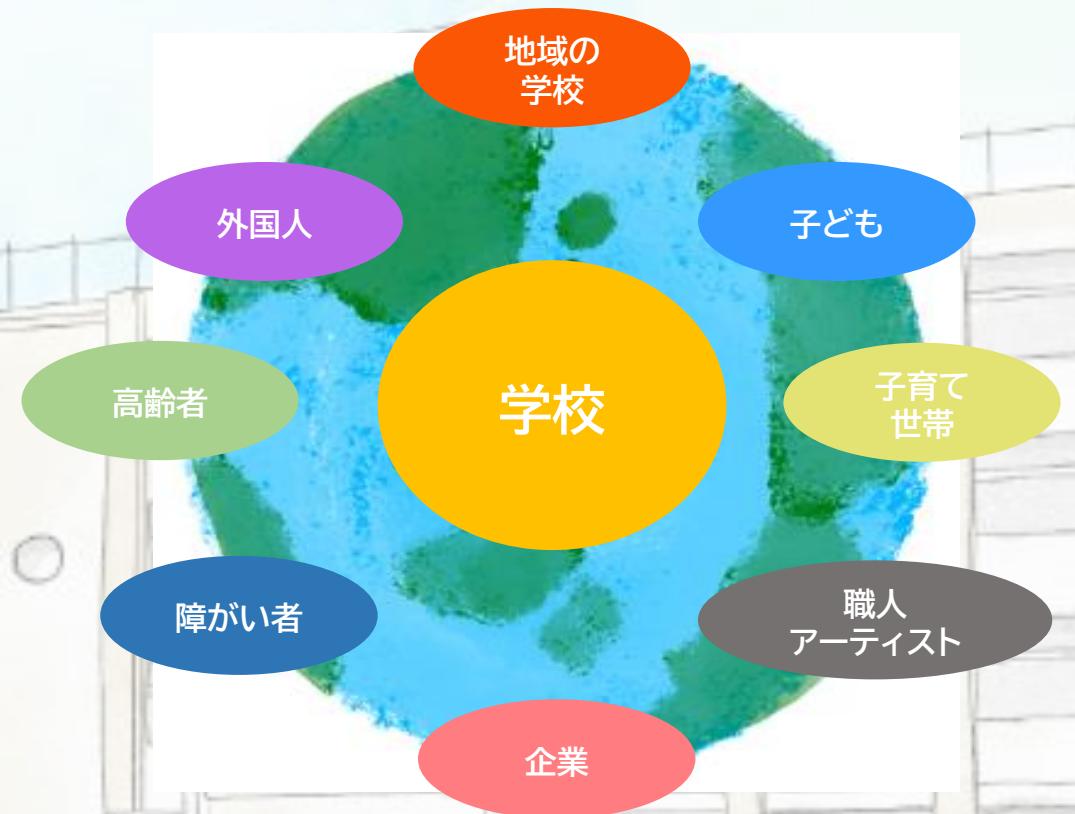
## 全体計画、計画提案コンセプト

- ・「I-1 募集の趣旨」、「II-1. 活用の基本的な考え方」及び「II-2. 活用にあたり求めるマインド」等を踏まえ、本物件の活用方針（施設利用の方針）や提案事業コンセプトの実現につなげるための考え方を記載してください。
- ・文章だけでなくイラスト、イメージ図等を用いて説明してください。
- ・周辺環境への配慮（周辺交通環境への配慮、改修計画の形態・意匠について、良好な景観形成への配慮）についても記載してください。
- ・本審査では、法令関係等のチェックを行うものではありませんが、提案内容は必ず関係法令等を遵守し、実施できる計画としてください。

# 01 事業コンセプト

## 子どもを中心に地域をつなぐ グローバル発信基地 いくの

インターナショナルスクール運営を通して  
豊かな地域の繋がりとグローバルなまちを創造する



### 生野区のグローバルな力をまちづくりの基軸に

生野区の多国籍・多様な文化は、他の地域にはないならではの魅力です。しかし多様な文化に触れられる一方で、生活面のハードルや、地域へのイメージに様々な影響を与えるのも事実です。

我々は東京都江戸川区にて、インターナショナルスクールを通じたグローバルなまちづくりに尽力してきました。その経験と、生野区の魅力的なグローバルな文化の土壌を活用し、国際的にも魅力あるまちを目指します。

### 次世代を担う子どもたちのパワーを起点に

全国で少子化が進んでおり、その流れは生野区も例外ではありません。次の世代を担う子どもたちの存在は、まち全体の根源的なエネルギーであり、同時にまちの将来に向けた希望でもあります。

子どもたちや子どもを取り巻く環境が元気なまちには、活発なパワーがあります。そのパワーを存分に生かし、子どもたちはもちろん、そこを起点に様々なつながりを生み出し、まちに住むすべての人がもれなくいきいきと暮らせる環境づくりを目指します。

## 国際的に魅力あるまちづくり

大阪全体で見た場合、今後、大阪が世界に開かれた都市としての強みを生かしていくには海外から集まる高度な外国人材に選ばれる環境を整備していく必要があるとされています。

大阪市のHPで公開されている「国際金融都市OSAKA戦略」の取り組みのひとつとしても掲げられている通り、インターナショナルスクールは高度外国人材の誘致装置としてもっと重要視されるべきだと考えられますが、現在アジア主要都市におけるその数と比較した場合、大阪のスクール数は圧倒的に少ない状況です。

また、日本においては、日本人は日本の学校に行くべきという社会的通念が強く、国際都市にはインターナショナルスクールが重要という社会認知が他国と比較し低い点も大きな課題です。

生野区には、すでに多様な国籍の人が暮らす文化の土壌が根付いています。その土壌をベースにしつつ、日本で働きたいという高度外国人材が住みやすい環境を整備していくことで、地域への人口流入、経済の活性化、治安やイメージの向上などが期待できます。

当法人では、実際に2006年に東京都江戸川区にインターナショナルスクールを開校し、左記の通り順調に生徒数を伸ばしてきました。

国内だけでは人口や経済の成長に限界がある中で、地域資源を生かした国際的なまちづくりにいち早く取り組むこと、その中心拠点として小学校跡地を活用することで、独自の魅力を生かした持続可能な地域の価値向上に寄与することを目指します。

## 年齢や国籍などの違いを問わず誰もが気軽に集える場

上述の外国人に加え、周辺地域には高齢者、学生、子育て世帯、障がい者など、多様な人が一緒に暮らしています。

一昔前であれば、隣近所が声を掛け合い、お互いに協力し合えるコミュニティが自然と発生していく環境がありました。しかし昨今の核家族化や人口の流動性の高まり、セキュリティ意識の向上など様々な要因により、地域コミュニティが非常に生まれにくくなっています。

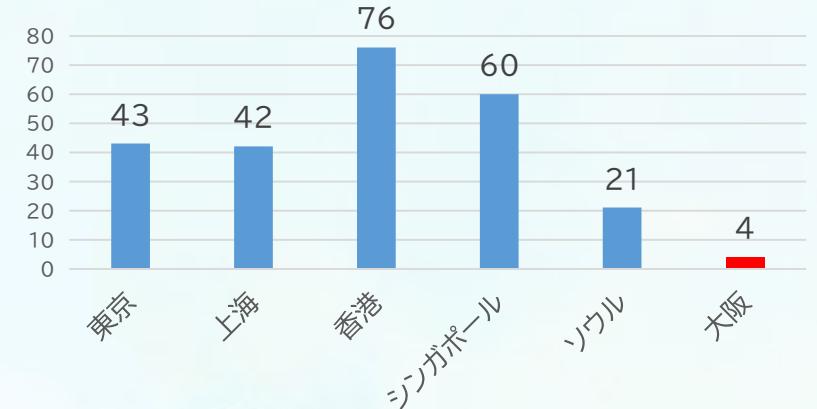
地域コミュニティとは一言でいえば関わる人たちにとっての「居心地の良い居場所」です。半ば強制的に人を集めたとしても、居心地がよくなければコミュニティが形成されることはありません。

なのでまずは、多様なコンテンツの提供や場所の提供などを通して、あらゆる属性の人が「気軽に」足を運べるきっかけを作りたいと考えております。もともと地域のコミュニティスペースとして活用される予定の「なかよしプレールーム」に加え、同フロアに誰もが来てくつろげるパブリックラウンジ、また、新たにコミュニティスペースを追加で整備し地域の方々の様々な活動を支援して参ります。

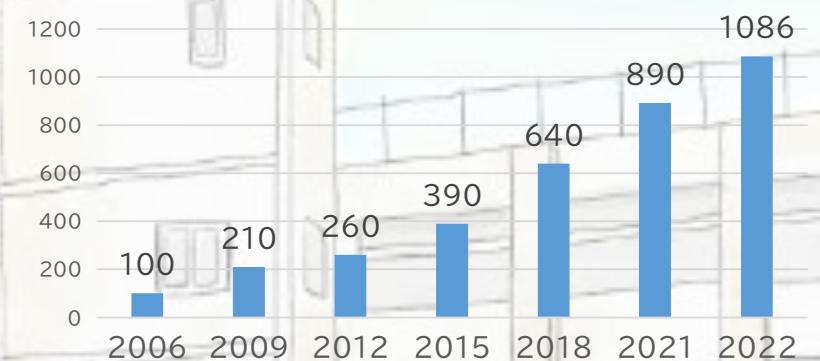
そこで得た経験や、新たな人と人とのつながりが、その人にとっての「居心地の良い居場所」になれば、そこにかつてのような自然発生的なコミュニティが生まれます。

小学校跡地には、ハード面・ソフト面でそういった居場所づくりができる環境があります。その環境を存分に生かして、だれもが気軽に集える地域コミュニティの拠点にその役割をシフトしていくことが重要であると考えます。

都市別のインターナショナルスクール数の比較



当法人の生徒数の推移



## 子どもを中心に地域をつなぐ グローバル発信基地 いくの

### インターナショナルスクール運営

#### 防災拠点機能

- ・ 災害対策マニュアルの策定
- ・ 非常用備品の常設
- ・ 防災訓練計画の策定・訓練の実施
- ・ まちづくり協議会、地域自治会との連携
- ・ 区、消防との連携
- ・ 外国語版防災マニュアルの策定
- ・ 非常時を想定した可動式の備品設置
- ・ 倉庫やバス乗り場の災害時の柔軟な活用

#### 地域連携・地域貢献機能

- ・ 地域清掃活動の実施
- ・ 地域の方を招いたイベントの開催
- ・ 近隣小中学校との交流・連携
- ・ 海外のスクールと連携した国際交流の実施
- ・ 生涯学習講座の開催

#### エリア波及力

- ・ 高度外国人人材の流入効果
- ・ 国際的に魅力あるまちづくり
- ・ 多様な属性の人々が住みやすいコミュニティづくり
- ・ 治安・地域イメージの向上
- ・ 人口流入による空き家・地価下落問題への貢献
- ・ 地域経済の活性化

#### 地域コミュニティ機能

- ・ 近隣商店街と連携した活動
- ・ 地域と協働した文化祭、フリーマーケット等の開催
- ・ 地域企業と連携した職業体験
- ・ クラブ活動を通じた地域交流
- ・ ヨガ教室、料理教室、空手教室、ダンス・エアロビクス教室等の文化活動
- ・ グラウンド・体育館を活用したスポーツ活動の場提供
- ・ 外国人向けの地域コミュニティ活動
- ・ 近隣老人ホームとの交流
- ・ 近隣小学校との交流

#### 持続可能な運営スキーム

- ・ 7か国、21校を運営するインターナショナルスクールを母体とした事業
- ・ 56か国の国籍・2万人超の学生を抱える豊富な運営実績
- ・ 東京都江戸川区でのグローバルなまちづくり実績の活用
- ・ インターナショナルスクール運営を基軸とした安定的な収支実現
- ・ 複数の国内拠点からのサポート体制
- ・ 多様な国籍の人材の在籍

#### 「学び」の視点

- ・ 豊富なインターナショナルスクール運営実績に基づく質の高い国際教育
- ・ 語学講座、IT講座、ビジネス講座、インド式数学講座等の生涯学習講座
- ・ 地域向けカルチャースクールの運営
- ・ 地域の方を招いた学外ティーチャー講座の開催